

Ⅱ. 生涯学習

【基本目標】市民一人ひとりの学びを支える生涯学習の振興

誰もがいつでも、どこでも学びたいときに学ぶことができ、その学びの成果を適切に生かせる社会が生涯学習の目指す姿です。このため、市民が家庭や地域での子どもの多様な体験学習をはじめ、生活を豊かにする学習活動・読書活動、趣味やスポーツなどに意欲的に取り組める生涯学習環境づくりを進め、自己実現を支援するとともに、地域コミュニティを育てていきます。図書館においては、多様化した市民ニーズに対応した事業展開を図るとともに、その担い手となる人材の育成に努めます。

Ⅱ－１. 多彩な学習活動の促進

◎…成果 ◆…課題

事業概要	<p>(1) 公民館事業の充実 ①市民同士がお互いに尊重し合い、教え合い、学び合う生涯学習活動の充実</p> <p>(2) 市内に関係施設のある大学との連携 ①大学等との連携による特色ある生涯学習プログラムの充実</p> <p>(3) 市民が学びやすい環境づくり ①地域学習・ボランティア活動の支援</p> <p>(4) 青少年海外派遣の推進 ①国際的感覚の豊かな人間育成</p>
平成 28 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ、時代に合った公民館主催教室の実施 ・市内に有する大学関連施設と連携した、講演会や各種学習教室などの実施 ・生涯学習事業へのボランティアの活用促進 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康志向の高まりを受け、ハイキングや健康体操等のほか、文化・芸術や趣味をとおした仲間づくりにつながる公民館教室を実施。 ・大学の持つ知的資産や文化的資産を地域に還元することで、大学の特色を活かした講演会や各種学習教室などを実施。 ・文化施設ボランティアについて研修によりスキルアップを図り、また生涯学習人材バンクについてはリクエストに広く応えられるよう新しい分野の登録者を開拓。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎市内全 11 館において計 310 回の公民館主催事業を開催、延べ 8,249 人が受講し、受講者が満足する多彩な講座が開催できた。 ◎市内に施設を有する 5 大学と 9 つの事業で連携し計 633 人が参加、アンケートにおいて好評を得られた。 ◎文化施設ボランティアを様々なイベント等に活用できた。また、生涯学習人材バンクについては、新しい分野の登録があった。 ◆公民館利用者の声を聴き、幅広い年齢を対象とした更に魅力のある講座作りに取り組む必要がある。 ◆大学との交流事業が固定化しないよう内容を見極めながら、時代に即した事業を実施していく必要がある。 ◆事業が継続できるよう、ボランティアの募集を引き続き行う。
平成 29 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ、時代に合った公民館主催教室の実施。 ・市内に有する大学関連施設と連携した、講演会や各種学習教室などの実施。 ・生涯学習事業へのボランティアの活用促進。

	<p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全 11 館において昨年度を上回る計 313 回の公民館主催事業を開催。夜間や土日に開講する講座を増やし、幅広い年齢層の受講者に対応した。 ・大学の持つ知的資産や文化的資産を地域に還元することで、大学の特色を活かした講演会や各種学習教室などを実施。 ・文化施設ボランティアについて研修によりスキルアップを図り、また生涯学習人材バンクについてはリクエストに広く応えられるよう新しい分野の登録者を開拓。 ・青少年海外派遣事業の周知を図り、生徒からの応募増加に向け、市内 3 中学校を始め、安房郡内及び近隣の高校（10 校）を訪問した。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎公民館主催事業には延べ 7,379 人が受講。終了後の受講者アンケートでは、約 9 割が満足という回答であった。（数字は 2 月末現在） ◎市内に施設を有する 5 大学と 8 つの事業で連携し計 765 人が参加。効果的な P R により、参加者の増につなぐことができた。 ◎文化施設ボランティアを様々なイベント等に活用できた。また、生涯学習人材バンクについては、新しい分野の登録があった。 ◎海外派遣事業の説明会には、近年では多人数となる 17 名の参加が得られ 9 名からの申込後、作文及び口述選考の結果、最終的に 6 名（中学生 4 名・高校生 2 名）を派遣した。 ◎海外派遣事業で派遣された生徒の保護者からは、子供の自立心が芽生えた、考え方が大人になったなど、多くの喜びの声が届けられた。 ◆市民のニーズ、時代に合った公民館利用者増につながる主催事業の実施。 ◆大学との交流事業が固定化しないよう内容を見極めながら、交流事業を増やしていく必要がある。 ◆事業が継続できるよう、ボランティアの募集を引き続き行う。 ◆派遣生徒に実施する研修会に関して、部活動の試合や進路に伴う試験により欠席をする生徒がいたため、学校に対して更なる理解を求める必要がある。
平成 30 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業仕分け後に行った利用者アンケートをもとに、より良い公民館運営を目指す。 ・市内に有する大学関連施設と連携した、講演会や各種学習教室などの実施 ・生涯学習事業へのボランティアの活用並びに登録者数を増やしていく。 ・鴨川市国際交流協会と連携した海外派遣事業の推進及び事業の幅広い周知への取組 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業仕分け後のアンケート調査を参考に内容を吟味した。その結果、昨年度を上回る計 358 回の公民館主催事業を開催。夜間や土日に開講する講座を増やし、幅広い年齢層の受講者に対応した。 ・大学の持つ知的資産や文化的資産を地域に還元することで、大学の特色を活かした講演会や各種学習教室などを実施するとともに、地域に即したテーマを設定して開催した。 ・文化施設ボランティアについて研修によりスキルアップを図り、また生涯学習人材バンクについてはリクエストに広く応えられるよう新しい分野の登録者を開拓。 ・国際交流協会に協力する形で、マニトワック市から来鴨した高校生の本市滞在中の各種活動の補助を行うとともに、海外派遣事業の周知や応募者数の増加に向け、市内 3 中学校を始め、市内及び近隣の高校（合計 10 校）を担当者が訪問し事業説明を行った。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎市民のニーズを把握し、初心者スマートフォン教室等新規事業を開催し、公民館主催事業では延べ 9,630 人が受講した。受講者の一部に実施したアンケートでは、約 9 割が満足という回答であった。 ◎市内に施設を有する 5 大学と 8 つの事業で連携し数年では最高の計 918 人が参加。効果的な P R と参加者のニーズにあったテーマにより、参加者増につながった。 ◎ボランティア登録者を新規イベントに活用できた。また、生涯学習人材バンクについて

	<p>は、新しい分野での登録があった。</p> <p>◎海外派遣事業に派遣された生徒は、事前研修においては語学力が向上し、派遣後は更なる語学力の向上が見られ、加えて、派遣者生徒6名の結束が強まるとともに、各生徒の社会性が高まるなど、人間的な成長が感じられた。また、派遣生徒の保護者からは、帰国後は、子供が一回りも二回りも成長し自立心が芽生えたなど、喜びの声が多く届いた。</p> <p>◆幅広い年代層が公民館を利用できるような主催事業の実施や環境づくり。</p> <p>◆大学との交流事業が固定化しないよう各大学と内容を精査する必要がある。</p> <p>◆利用の少ない分野でのボランティア活動を支援する。</p> <p>◆海外派遣事業の周知は前年度末から開始するが、参加申込及び選考試験(作文及び面接)は新年度に入ってから実施するなど、事業展開が年度跨ぎとなるため、派遣希望者のうち、新高校1年生においては生徒も学校も混乱するとともに、事務担当者も異動等により変更する可能性があることなどから、事務等における遺漏がないよう細心の注意を払う必要がある。</p>
令和元年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ、時代に合った公民館主催教室の実施 ・事業仕分け後に行った利用者アンケートを基に、市内に有する大学関連施設と連携し、より充実した講演会や各種学習教室などの実施 ・生涯学習事業へのボランティアの活用及びに登録者数を増やしていく。 ・海外派遣事業の効果的な実施と年度跨ぎで事務手続きに支障を来さないための計画立案 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間や土日に開講する講座を増やし、幅広い年齢層の受講者に対応した。 ・大学の持つ知的資産や文化的資産を地域に還元することで、大学の特色を活かした講演会や各種学習教室などを実施した。 ・文化施設ボランティアについて研修によりスキルアップを図り、また生涯学習人材バンクについてはリクエストに広く応えられるよう新しい分野の登録者を開拓した。 ・当該年度から次年度に向けた計画的な事務スケジュールを立て、年度跨ぎで学校が変わる中学3年生に対する周知に遺漏がないよう、市内3中学校を始め、市内2校及び近隣8校の高校を担当者が訪問し、事業説明及び事業スケジュール等の説明を行った。 <p>【成果と課題】</p> <p>◎市民のニーズを把握し、老後の人生設計教室等様々な新規事業を開催し、公民館主催事業では延べ6,884人が受講した。受講者の一部に実施したアンケートでは、約9割が満足という回答であった。</p> <p>◎市内に施設を有する5大学と7つの事業で連携し計564人が参加。効果的なPRと参加者のニーズにあったテーマにより、参加者増につながった。</p> <p>◎ボランティア登録者を新規イベントに活用できた。また、生涯学習人材バンクについては、新しい分野での登録があった。</p> <p>◎海外派遣事業参加者の中には、当初、コミュニケーションが苦手と思わしき生徒も数多く見受けられたが、対面式の手法を盛り込んだ事前研修の受講やマニトワック市からの派遣学生との数多くの交流を経て、派遣者6名の結束が強まった。加えて、マニトワック市でのホームステイ型の生活において、英語によるコミュニケーションの楽しさを感じ、英語への学習意欲が高まるとともに、社会性・協調性において個々の目覚ましい成長を感じることができた。</p> <p>◆幅広い年代層が公民館を利用できるような新規の主催事業の実施や環境づくり</p> <p>◆大学との交流事業が固定化しないよう各大学と内容を精査する必要がある。</p> <p>◆利用の少ない分野でのボランティア活動を支援する。</p> <p>◆両市の派遣者数の不一致などを理由として、受け入れていない家庭の疎外感や必要な情報が共有されないなどの課題が散見されたため、派遣者数を同数に調整する必要がある。加えて、担当職員・親・派遣者間の連絡体制を改めて構築する必要がある。</p>
令和2年度	<p>《 重点取組 》</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ、時代に合った各公民館での特色ある主催教室の実施 ・市内に有する大学関連施設と連携し、内容について精査・検討をし、新しい分野で充実した講演会や各種学習教室などの実施 ・生涯学習事業へのボランティアの活用並びに登録者数を増やしていく。 ・令和2年度の海外派遣事業は休止 ※東京オリンピック・パラリンピックにより、航空券の手配が困難になることが予測されるうえ、マニトワック市から学生が派遣がされないため。
	<p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
【5年間を総括した成果と課題】	

Ⅱ－２．社会教育関連施設の充実

◎…成果 ◆…課題

事業概要	(1) 社会教育関連施設の整備 ①施設の計画的な改修と更新
平成28年度	<p>《重点取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の耐震診断、及び耐震補強工事の継続実施 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉尾公民館の耐震診断の実施 <p>【成果と課題】</p> <p>◎耐震診断実施済公民館：5館(H24中央、H25天津小湊、H26東条、H27主基、H28吉尾)</p> <p>耐震補強工事実施公民館：中央(H27)</p> <p>◆一部耐震基準を満たしていない主基、吉尾の耐震補強工事の検討</p>
平成29年度	<p>《重点取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の耐震診断、及び耐震補強工事の継続実施 ・老朽化した公民館の施設設備の修繕 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太海公民館の耐震診断、主基公民館耐震補強設計の実施 ・中央公民館屋上防水改修、主基公民館講堂床改修、空調機更新工事等の実施 <p>【成果と課題】</p> <p>◎耐震診断実施済公民館：6館 (H24中央、H25天津小湊、H26東条、H27主基、H28吉尾、H29太海)</p> <p>耐震補強工事実施公民館：中央(H27)</p> <p>◎緊急性を考え、優先順位をつけ実施した。</p> <p>◆一部耐震基準を満たしていない吉尾、太海の耐震補強工事の検討</p> <p>◆東条公民館屋上防水改修工事の検討</p>
平成30年度	<p>《重点取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の耐震診断、及び耐震補強工事の継続実施 ・老朽化した公民館の施設設備の修繕 ・社会教育関連施設のAED設置の推進 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田原公民館の耐震診断、吉尾公民館耐震補強設計、主基公民館耐震補強工事の実施 ・東条公民館屋上等防水改修工事実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・ A E D設置施設の調査を実施 【成果と課題】 ◎耐震診断実施済公民館：7 館 (H24 中央、H25 天津小湊、H26 東条、H27 主基、H28 吉尾、H29 太海、H30 田原) 耐震補強工事実施公民館：中央(H27) 主基(H30) ◎緊急性を考え、優先順位をつけ実施した。 ◎A E D設置施設の把握 ◆一部耐震基準を満たしていない吉尾、太海、田原公民館の耐震補強工事の検討 ◆公民館の空調機更新工事等の実施・公民館の消防設備の充実
令和元年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館の耐震診断の継続実施 ・ 老朽化した公民館の施設設備の修繕 ・ 公民館の消防設備修繕 <hr/> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曾呂公民館の耐震診断の実施 ・ 江見公民館、東条公民館の空調改修工事実施 ・ 市内公民館の老朽化した消防設備の修繕を実施 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎耐震診断実施済公民館：8 館 必要である全公民館実施済み (H24 中央、H25 天津小湊、H26 東条、H27 主基、H28 吉尾、H29 太海、H30 田原 R01 曾呂) 耐震補強工事実施公民館：中央(H27) 主基(H30) ◎緊急性を考え、優先順位をつけ実施した。 ◎老朽化した消防設備の修繕を実施 ◆一部耐震基準を満たしていない吉尾、太海、田原公民館の耐震補強工事の検討 ◆公民館の空調機更新工事等の実施 ◆点検を日常化する。
令和2年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館数等の適正化に向けた検討 ・ 老朽化した公民館の施設設備の修繕 <hr/> <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
【 5年間を総括した成果と課題 】	

Ⅱ－3. 読書・学習環境の充実

◎…成果 ◆…課題

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> (1) 図書資料の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ①親しみやすい図書館環境づくり ②資料の充実 (2) 図書館施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①施設・設備の改修 ②公民館図書館分室の機能強化 (3) 子どもの読書活動や習慣づけの推進 <ul style="list-style-type: none"> ①子どもの読書活動の推進 ②読書習慣づくりの推進 ③学校教育と図書館の連携による読書活動の推進 (4) 生涯型読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ①鴨川市生涯読書推進計画に基づく読書活動の推進
------	---

平成 28 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親しみやすく、見やすい書架への工夫と改善 ・ 小学校図書室への図書配本事業の実施 ・ 大活字本や朗読 CD の充実 <hr/> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節に合わせたテーマによる図書を展示ケースにて紹介する工夫と、著者名の表示を増やし見やすい書架への改善に努めた。 ・ 小湊小へ 100 冊、東条小へ 200 冊「図書館からおすすめの本」を配本すると共に、図書館職員による読み聞かせやブックトーク、図書室整備のアドバイス等を実施 ・ 大活字本や朗読 CD を購入し、紹介するコーナーを設置。また、公民館図書館分室で大活字本のリストを掲示し周知に努めた。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 親しみやすく、見やすい書架の工夫・改善をした結果、図書の貸出が昨年度より約 1000 冊増加した。 ◎ 配本を実施した小学校で、本を読む児童が増加した。 ◎ 様々なジャンルの大活字本を多く収集した事により、幅広い世代の方に利用されるようになった。 ◆ 配架の工夫、展示スペースの確保 ◆ 小学校への図書配本や読書活動支援ため、図書館職員のスキルアップが必要 ◆ 大活字本が高額である。また、配架する書架スペースが必要
平成 29 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館空調設備更新工事の実施 ・ 小学校への図書配本事業の拡大 ・ 市内各公民館での予約本受取サービスの検討 ・ 読み聞かせ等の子どもの読書活動の推進 <hr/> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空調設備更新工事を実施 ・ 長狭小学校へ 150 冊、江見小学校へ 150 冊「図書館からのおすすめ本」を配本するとともに、図書館職員による読み聞かせやブックトーク、図書室整備のアドバイス等を実施 ・ 平成 29 年 7 月 1 日から市内各公民館で予約本受取サービスを実施 ・ 乳幼児や児童を対象とした読み聞かせ行事を実施 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 空調設備を更新し適切な空調管理が出来るようになり、利用者の利便性が向上した。 ◎ 配本事業を 2 校追加し、4 校で配本図書を利用できるようになり、本を読む児童が増加した。 ◎ 公民館 5 館（中央、西条、大山、太海、江見）にて 9 名が予約本受取サービスを利用し、延べ 32 回で 42 冊の貸出を行った。【平成 30 年 2 月末現在】 ◎ 読み聞かせ行事を年間で 18 回開催し、参加した延べ 442 名の子どもに絵本や紙芝居の読み聞かせを行った。【平成 30 年 2 月末現在】 ◆ 市内の全小学校に配本事業を実施するため、残り 4 校について事業費の確保に努めていく必要がある。 ◆ 更なる予約本受取サービス利用者の拡大を図るため、事業について周知をすすめていく。 ◆ 小学校低学年から読み聞かせ会への参加が減少しているため、呼びかけや内容の工夫により参加者の増加を図っていく。
平成 30 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者ニーズや利用実態に対応した開館時間を再検討するため、調査を目的とした開館時間延長の試行実施 ・ 小学校への図書配本事業の拡大

	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次生涯読書推進計画の策定準備 ・多様なニーズに対応するため、新たな講座の実施 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月と10月に開館時間の延長試行を実施。利用者統計の結果と、利用者からの時間延長を求める声を踏まえ、図書館協議会で開館時間の変更を提案したところ、全委員の賛同を得られた。 ・「図書館からおすすめの図書」を、鴨川小学校へ200冊、田原小学校へ100冊配本した。 ・第2次生涯読書推進計画については延期とした。 ・小学校に英語教育や英語活動が取り入れられた事に繋げるため、子ども向けに「えいごのおはなし会」を年2回実施。また、日本文化や芸能に親しむ機会を提供するため、成人向けに「俳句入門講座」を年2回実施した。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎市民ニーズに合った開館時間とするため、火～金は午前9時30分から午後6時30分、土・日・祝日は午前9時30分から午後5時30分までと、図書館管理規則の改正を行った。 ◎今年度で市内6校への配本が開始できた。学校図書室担当より「図書館からのおすすめ図書」を楽しみにし、本を読む児童が増加したとの報告があった。 ◎「えいごのおはなし会」8月は52名、12月は53名の参加。「俳句入門講座」6月は29名、1月は31名の参加があった。 ◆火曜から金曜は開館時間を1時間延長することから、光熱水費と臨時職員の賃金についてかかる経費の確保に努める必要がある。 ◆市内の全小学校に配本事業を実施するため、残り2校についての事業費確保に努める必要がある。 ◆第2次生涯読書推進計画について、小・中学校の教科書採択との関係から、平成32年度以降に作成していく。 ◆行事がマンネリ化しないように内容の充実を図ると共に、行事の周知に努め参加者の増加を目指していく。
令和元年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バランスの良い蔵書の充実を図る。 ・小学校への図書配本事業の拡大 ・「意見箱」などの設置により、市民ニーズに対応していく。 ・ホームページの更新 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古くなった資料の除籍や改訂版の購入、また、蔵書が少ない分野や利用の多い分野の資料を計画的に購入した。 ・今年度西条小、天津小湊小への配本を実施し、全小・中学校への配本を開始した。 ・図書館利用への意見を基に館内巡回を強化し環境改善を図った。 ・次年度以降、市のホームページを更新する際の図書館ホームページについて協議した。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎出版案内や利用者からのリクエストを基に図書を購入し、蔵書の充実を図った。 ◎全小中学校への図書配本を開始し、児童・生徒の読書活動の充実を図った。 ◎学習スペースやトイレ等の利用に関する意見を基に、館内巡回の強化や環境改善を図った。 ◆引き続き中長期的な購入計画を進め、蔵書の充実を図っていく。 ◆図書配本事業の充実のための予算を確保していく。 ◆市民からの意見に耳を傾け、更なる運営改善に努める。 ◆市ホームページ更新を実施する際、図書館ホームページをスムーズに更新作業ができるよう、県内の図書館ホームページの状況を確認しながら準備を進める。
令和2年度	《 重点取組 》

	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の整備 ・障害者用駐車場の整備 ・小中学校への図書配本事業の充実 ・30周年記念事業の実施
	<p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
<p>【 5年間を総括した成果と課題 】</p>	